

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ほっぷ国府台		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 19日		～ 令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 19日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「満足度」では回答を頂いた保護者さますべてから良い評価を頂き、子どもたちの個性や特性を把握し向き合う姿勢が評価につながった。	子どもたちが安心して過ごせる場、楽しく過ごせるプランが立てるようミーティングの場を毎日、設けている。 職員間の情報共有を大切に、子ども達が「また行きたい」と思える安心した空間づくりを意識している。	さらに良い支援ができるよう研修を増やしていきたい。 安心、安全に配慮しながら、楽しい活動を企画していく。
2	「保護者への説明」について、保護者さまの協力を得て、適時行うことができ、より良い支援及び事業所への理解につなげることができている。	契約時は個別で行っており、説明時に質問があれば都度答えるようにしている。 担当者会議以外にも、個別で話を聞く機会を設けている。困りごとや心配ことがある際はいつでも気がねなく連絡ができる関係作り心がけている。	ペアレントトレーニング等、保護者向けの研修を行えるよう企画していく。 保護者やきょうだいの交流の場を増やしていく。
3	「非常時の対応」についても良い意見をいただいた。	「非常時の対応」については、年4回の訓練(防災訓練・不審者訓練)を定め、地震や火災・不審者への対応や行動を確認している。	非常時の対策について、起こりうる災害を細分化し、場面によりどのような対応をしていくのか定め周知していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流等、地域の人たちとの関わりが少なく、地域の理解が得にくい状況がある。	公共の施設の利用についても、放課後等デイサービスがどのような場所なのか周知されていない。放課後等デイサービスを利用していることを知られていない保護者(以前)がいる。	コロナ前に行っていた近隣の高校生との交流を再開していく。地域の人に放課後等デイサービスがどのような施設なのか、どのような子どもが通っているのかを丁寧に説明していき、理解を深めていく。交流の場を増やしていき地域とのつながりを多く持つ。
2	玄関前のバリアフリー化やトイレや個室の整備等を行っていない部分がある。	トイレが狭く介助が必要になった際、十分な介助ができない。玄関前のみ数センチの段差がある。賃貸の為、工事に難しさがある。個室については現在パーテーションを用いて他との環境を分けているが、完全に隔てることはできていない。	トイレと玄関前の段差の修繕に関しては、今後も予算、期間を考慮しながら、大家さんと検討していく。 個室については完全に隔てることは難しいが、より近い環境をつくって行けるように構造を見直していく。
3	学校、保育園等、関係機関との連携が取れていないことがある。	放課後等デイサービスが何を行っている場所なのか学校の先生たちに知られていない。(年々周知されてきている) 学校と事業所の職員の勤務時間が合っていないので、情報共有の場を設けにくい。	子ども部会等を通じて、お互いに情報共有ができるよう、体制を整えていく。 情報等の共有を積極的に行えるよう、事業所から声をかけていく。 事業所の入所前や退所後も情報共有を相談支援員と行っていく。